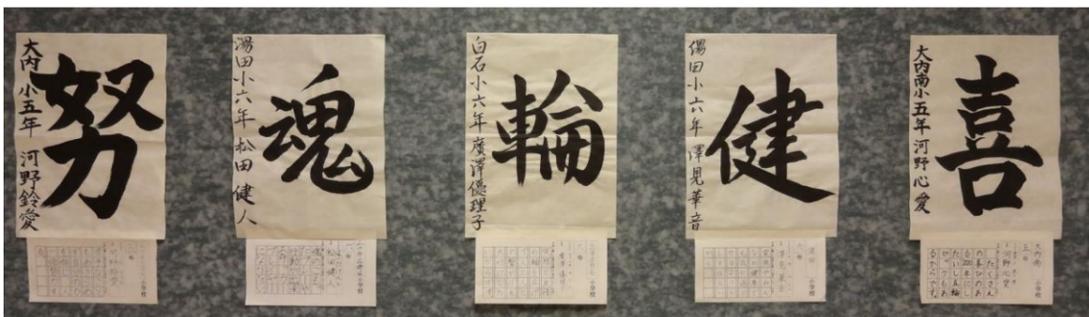


入選作品紹介



〔入選佳作〕



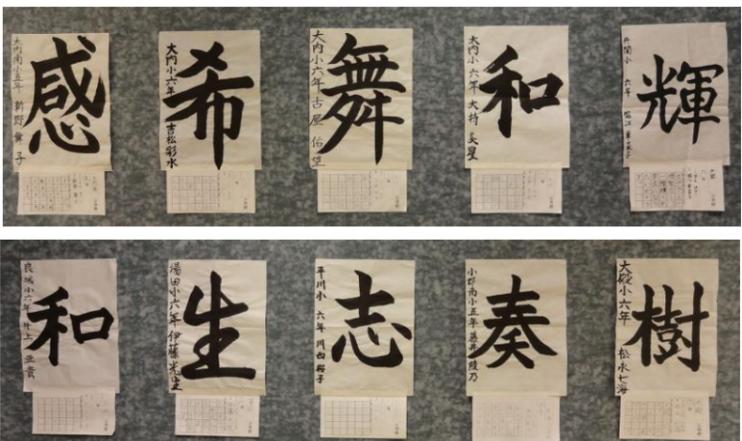
〔特別賞〕
大内南小学校
5年 河野心愛

〔山口市教育長賞〕
湯田小学校
6年 澤見華音

〔最優秀賞〕
白石小学校
6年 廣澤優理子

〔山口市長賞〕
湯田小学校
6年 松田健人

〔山口市菜香亭賞〕
大内小学校
5年 河野鈴愛



井関小学校
6年 堀江華菜子

大内小学校
6年 大持美星

大内小学校
6年 古屋佑望

大内南小学校
6年 吉松彩水

大内南小学校
5年 新野舞子

大殿小学校
6年 松永七海

小郡南小学校
5年 藤井綾乃

平川小学校
6年 川西桜子

湯田小学校
6年 伊藤光生

良城小学校
6年 井上亜貴

講演会「山口総鎮守・今八幡宮の歴史」開催



令和2年2月1日(土)に講演会「山口総鎮守・今八幡宮の歴史」を開催しました。講師に今八幡宮第19代宮司の小方礼次(おがたのりつぐ)さんを迎えました。今八幡宮の歴史についての講演会は初開催ということで、多くの参加を頂きました。



参加者の数は87名。みなさん、宮司のお話を熱心に聞いています

今八幡宮は、応神天皇の皇太子、宇治皇子を祀る、全国でも珍しい神社です。創建当時は、宇治皇子一柱のみでしたが、文明3年(1471)に大内政弘が朝倉八幡宮と合祀しました。その際、社号は同じままに、主祭神は応神天皇としました。現在は上記二柱を含め、五柱の神を祀っています。

合祀の際、山口町の総鎮守(総氏神)とされ、現在も市内で氏子数が最も多い神社です。また、山口町の北東に位置し、鬼門封じも担っています。町を邪気から守るため、山口町の最も遠い角に設けられました。

また、今八幡宮は、大内義隆が鰐口を寄進していることや、大内政弘によって今八幡宮に関する法令がだされたことなど、大内氏と深い関係にあります。その関りは、大内氏滅亡後にも続きます。当時、全国一



サビエルからの贈り物2019 クリスマスワークショップ折形でお祝い開催

令和元年11月23日(土)、徳地和紙を使用した折形のワークショップを行いました。今回で三回目を迎えます。折形の制作の前に、元山口市地域おこし協力隊の船瀬春香さんによる徳地和紙の折染め体験を行いました。折染めとは、名前の通り、紙を折って染料で染めたものです。同じ染料を使用しても、表れる色や模様は人それぞれです。紙を広げるまで、どんな模様になったのか分からないワクワク感もあります。



手振りを交えて折染の説明をする船瀬さん

続いて、菜香亭サポートーズの松井久代さんによるご説明とご指導のもと、「葉玉」と「たとう折り」を制作しました。「くすだま」というと、割ると中から垂れ幕が出るものを想像される方も多かもしれません。もともとの葉玉は、平安時代に中国から伝わりました。日本では、薬草や香料などを編んで玉のように丸くし、五色の糸をつらぬき、シヨウブやヨモギなどの花を刺して飾りとしたものが葉玉でした。

中国では5月5日に肘にかけると邪気を払い、寿命をのばす効き目があると、古くから用いられたそうです。

また、たとう折りの袋は一般的には、神社の授与品(お守りやお札など)を入れる袋や、祝儀袋・香典袋として使用されます。今回は、少しおしゃれに、香を入れてお使いとして利用できるようにしました。何気ない日常の中で日本の伝統を繋いでいけたら素敵ですね。



第6回アートdeおもてなし開催

令和元年11月6日〜10日、第6回アートdeおもてなしを開催しました。ジャンルを問わず、県内のアーティスト8名と1グループが一堂に会しました。

〜今八幡宮の“今”とは?〜

八幡宮・八幡様 → 応神天皇を祀る
今八幡宮 → 宇治皇子を祀る

八幡宮が祀る応神天皇と区別して、宇治皇子を指して“今”と言うそうです。



今八幡宮ホームページより
↑大内義興が寄進した鑄口。おそく日本一大きい鑄口。現在は山口市歴史民俗資料館で展示保管。国の重要文化財にも指定されています。

※鑄口: 寺社仏閣の堂前に吊るされ、参拝者が打ち鳴らすもの



折染めを使用した着袋など

和紙を使った作品作りをされている松井さん



葉玉(くすだま)

↑折染の様子

折形ってなあに?

武家社会の礼法のひとつ。心を込めて、和紙を手でおり、物を包む作法。贈り物などに用いられます。600年以上の歴史があり、現在の折り紙の原型です。



西の菜時記

令和2年3月26日発行
第55号
発行元: 山口市菜香亭
指定管理者
特定非営利活動法人
歴史の町山口を甦らせる会

西の菜時記

令和2年3月26日発行
第55号
発行元: 山口市菜香亭
指定管理者
特定非営利活動法人
歴史の町山口を甦らせる会